

阪急百貨店のスイーツ移動販売が フランチャイズ化へ向けた実証実験を福岡エリアで開始

株式会社阪急阪神百貨店(本社:大阪市北区、代表取締役社長:山口俊比古)は、同社が手掛ける移動販売事業「走るデパ地下 阪急のスイーツ移動販売」(以下、「走るデパ地下」)のフランチャイズ展開を見据えた実証実験を2026年4月下旬から福岡エリアで開始します。パートナー企業をフランチャイズ加盟店とし、1年間、実験的に営業します。

今回の実験は、「走るデパ地下」の京阪神エリアで培った実績をもとに、他エリアでの事業拡大の可能性を検証するものです。福岡エリアの介護施設や病院等と接点を持つパートナー企業と連携して実験を行うことで、より実効性のある検証が可能になると考えています。

◎「走るデパ地下 阪急のスイーツ移動販売」概要

人口減少や少子高齢化で地域の流通機能・交通機能が低下し、買い物機会が十分に得られていない方が増えています。「走るデパ地下」は、そうした社会課題の解決に向けて、お客さまの最寄りの地域までデパ地下スイーツを移動販売車で提供する事業です。単品商品から進物用の詰め合わせまで、好きな商品をおひとつから販売いたします。2023年7月に本格始動してからこれまで、京阪神エリアの介護施設、シニアマンション、病院、オフィスなど約1,000箇所に出店してきました(※)。定期的な出店を希望される声も多く、認知と需要が高まっています。

(※)2026年3月時点

公式サイト：https://website.hankyu-dept.co.jp/hashiru_depachika/

◎福岡エリアにおける実証実験の概要

- 【内容】移動販売(「走るデパ地下」)のフランチャイズ化へ向けた、福岡エリアでの実験営業
- 【期間】2026年4月下旬～2027年3月(予定)
- 【販売場所】福岡県全域の介護施設、シニアマンション、病院、オフィス、工場、行政関連施設 など
- 【車両台数】1台
- 【取り扱い商品】約40ブランドのスイーツ(和洋菓子)
 - ・デパ地下の人気スイーツ：シュガーバターの木、アンリ・シャルパンティエ など
 - ・阪急百貨店のオンリーワンブランド：バトンドール、グランカルビー、ハッピーターンズ など
 - ・阪急うめだ本店の人気催事商品(期間限定)：バレンタインチョコレート博覧会や北海道物産大会 など
- 【パートナー企業】株式会社日米クック(本社:大阪市北区、代表取締役社長:米谷素明)



京阪神エリアでの販売の様子

<この件に関する報道関係者お問い合わせ先>

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181